



Title	Relationship among Strongyloides stercoralis infection, human T-cell lymphotropic virus type 1 infection and cancer : A 24-year cohort inpatients study in Okinawa, Japan.(Review_審査要旨)
Author(s)	田中, 照久
Citation	The American Journal of Tropical Medicine and Hygiene, 94(2): 365-370
Issue Date	2016-02
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/33705
Rights	

平成 28 年 1 月 6 日

(別紙様式第 7 号)

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

報告番号	課程博 * 第 号 論文博	氏名	田中 照久
論文審査委員	審査日	平成 27 年 12 月 16 日	
	主査教授	青木一雄	印
	副査教授	田中勇悦	印
	副査教授	大田好男	印
(論文題目)			
Relationship among <i>Strongyloides stercoralis</i> infection, human T-cell lymphotropic virus type 1 infection and cancer: A 24-year cohort inpatients study in Okinawa, Japan.			
(論文審査結果の要旨)			
上記論文に関して、研究にいたる背景と目的、研究内容、および研究成果の意義と学術的水準について検討し、以下のような審査結果を得た。			
1. 研究の背景と目的			
沖縄県は糞線虫およびヒト T 細胞リンパ向性ウイルス 1 型(human T-cell lymphotropic virus type 1 : HTLV-1)の感染者が多い。がんの発生には慢性炎症が関与することが知られているが、糞線虫感染が誘発する慢性炎症が HTLV-1 感染および発がんに関連するののか、さらには HTLV-1 感染が成人 T 細胞白血病/リンパ腫(ATLL)以外の発ガンにも関連するののかは、未だ詳細には明らかにされていない。そこで、本研究は疫学的に糞線虫感染と HTLV-1 感染の関連性、およびこれらの病原体感染と発ガンの関係を明らかにすることを目的とした。			
2. 研究内容			
1991 年から 2014 年までの期間に、琉球大学医学部附属病院第一内科に入院した患者 5209 例 (男性 3154 例, 女性 2055 例)を対象として、性別、出生年、糞線虫感染および HTLV-1 感染の有無、がんの有無について後方視的検討を行った。糞線虫感染と HTLV-1 感染との関係を調べるには糞線虫陽性者が見られない 1960 年以降に生まれた患者を除いた 4056 例を対象とした。また、これら 4056 例を対象として、糞線虫感染と各がん(食道, 胃, 胆道, 肝臓, 大腸, 肺, 膵臓, ATLL 以外のリンパ腫)の発生率を比較検討した。HTLV-1 感染と各がんの発生率の比較には、HTLV-1 抗体陽性者が見られない 1990 年以降に生まれた患者を除いた 5168 例を			

対象として同様に検討した。

対象 5209 例の平均年齢は 56.4 ± 17.9 歳であり、全体の糞線虫感染率は 5.2 %で、男性の糞線虫感染率(6.3%)は女性の感染率(3.6%)と比較して有意に高かった。また糞線虫感染率は若年者ほど低く、出生年が 1960 年以降に生まれた患者には糞線虫感染を認めなかった。

一方、全体の HTLV-1 の感染率は 13.6%であり、女性の感染率(15.5%)は男性の感染率(12.3%)と比較して有意に高く、また若年者ほど感染率は低かった。

HTLV-1 感染者では非感染者と比較して糞線虫感染率が有意に高かった。糞線虫感染と各がん発生との関連性は認めなかった。HTLV-1 感染者では肝臓癌および ATLL 以外のリンパ腫発生率が有意に高かった。

3. 研究成果の意義と学術的水準

本研究によって、沖縄において、HTLV-1 感染者には糞線虫重複感染率が高い事、糞線虫感染は発ガンとは関連しない事、HTLV-1 感染は、肝臓癌および ATLL 以外のリンパ腫発生に関係している事が疫学的に明らかにされた。本研究は、非常に貴重な臨床研究であり、その研究成果は国際的にも認められる高水準のものであると評価された。

以上により、本論文は学位授与に十分に値するものであると判断された。

- 備考
- 1 用紙の規格は、A4とし縦にして左横書きとすること。
 - 2 要旨は800字～1200字以内にまとめること。
 - 3 *印は記入しないこと。